

事業所名 グループホーム 蔵の家

日付 平成 20年 8月 29日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 元小学校教諭
元婦人相談員

会社経営者
介護従事者

[自主評価結果を見る](#) (工事中)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)(記述式)

広々とした敷地に病院、特養などがあり、その一角に佇んで安心できる環境である。施設の各部屋、廊下、ホール共に採光良く大変明るく入居者、スタッフ共に気分が爽快で伸び伸びと生活している様子が伺える。そして、入居者同士の関わりも和やかです。突然現れた評価員に対しても、気さくに挨拶や声をかけてくれ、人との交わりを大切に思い、穏やかに時間が過ぎていく。そして、職員の介護に対する早々の改善方針により入居者の共同生活にも積極性が表れているのが見られる。

車を利用して遠くまで買い物に行き、広い範囲の新鮮な風景に触れさせたり、ボランティアの協力を得て音楽療法を取り入れたりして、入居者に変化をもたらすように、興味が湧くようにと心配りをしながら、とても明るい雰囲気を作っているそんな施設である。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

・地域に根差した運営を目標としているが、地区・住民との交流をもっと深めて行ってほしい。
 ・中高生からのボランティア活動が盛んで感謝しているが、せっかく作成した「便り」などを利用して外部への広報公開の策が練られるとなお良い。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<ul style="list-style-type: none"> ・「心豊かに」「すこやかに」のスローガンを掲げ、スタッフ、入居者共に笑顔を絶やさず、家庭的な生活支援に努める。 ・ゆっくり話したり、心安らかにしたりする事に留意し、集いの中にも心和む雰囲気を築いていく。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<ul style="list-style-type: none"> ・慌てないでゆっくりとした言動を大切にしてお入居者に対応すること。 ・各階に畳の間が1ヶ所設けられ、掘り炬燵まで用意されている。 		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の趣味を大切にし、その力が衰えないように努めている。 ・「作業 好み 脳に良い」ことを考え実践に努める。 ・趣味を活かし、手作業をゲーム的に扱う。(塗り絵、貼り絵等) ・定期的にボランティアの歌唱指導を受ける。 		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<ul style="list-style-type: none"> ・医療制度が変わって行くため、研修や勉強会に積極的に参加するように心掛けている。 ・問題発生後は職員間同士で問題について話し合い、次に活かすように努めている。 		